

冷凍空調工事保安管理者資格取得のための 令和元年度 講習のお知らせ

(本講習は、別表 1 による有資格者 1～4 を対象とします。有資格者 5 の場合は別途受講が必要です)

1) 日時 令和元年 12 月 4 日 (水)

付 加 講 習	フロン／アンモニア (A,B,C /S,Sp)	9 時～12 時
保安確認講習	フロン (A,B,C)	13 時～16 時
保安確認講習	アンモニア (S,Sp)	13 時～17 時

※フロンとアンモニアを同時実施致します。但しアンモニアは保安確認講習で 1 時間多く受講頂きます。

2) 会場

(一財) 大阪科学技術センター ※駐車場は利用できません。

大阪市西区^{うつぽ} 本町 1 丁目 8 番 4 号 TEL. 06 - 6443 - 5324

地下鉄御堂筋線「本町駅」2 番出口から徒歩 8 分 地下鉄四ツ橋線「本町駅」28 番出口から徒歩 5 分

3) 定員 70 名

4) 受講料	アンモニア (S,Sp)	付加講習＋保安確認講習＝13,820 円
	アンモニア (S,Sp)	保安確認講習のみ＝6,910 円
	アンモニア (S,Sp)	付加講習のみ＝6,910 円 (以前受講した確認講習受講票を添付して下さい)
	フ ロ ン (A,B,C)	付加講習＋保安確認講習＝12,770 円
	フ ロ ン (A,B,C)	保安確認講習のみ＝5,860 円
	フ ロ ン (A,B,C)	付加講習のみ＝6,910 円 (以前受講した確認講習受講票を添付して下さい)

5) 講習使用テキスト

(当日会場でご購入の場合、つり銭のなきようご準備をお願い致します。尚、事前発送ご希望の場合は 送料 370 円 (3 冊まで) をテキスト代に加算してお申込み下さい)

テキスト名	価格 (税込み)	使用する講習
上級冷凍受験テキスト 第 8 次改訂版	4,000 円	アンモニア、フロン共通 付加講習
冷凍空調工事保安管理者 保安確認講習テキスト 第 10 次改訂版	1,570 円	アンモニア、フロン共通 保安確認講習
冷凍空調装置の施設基準 (アンモニアの施設用) KHKS 0302-4 (2015)	1,570 円	アンモニア 保安確認講習

6) 申し込み方法

講習の種類に合わせた申込書 (別紙 3-17 又は 3-18) に必要事項を記入、写真貼付、資格証のコピー、受講料、テキスト代 (事前購入の場合) と共に現金書留にてお申し込み下さい。

銀行振込の場合：振込手数料は受講者負担でお願いします。

申込関係書類に「振込明細書」のコピーを必ず添えてご郵送ください

※受講票送付後は、受講料は返金できませんのでご注意ください。

7) 受付期間

令和元年 10 月 1 日（火）～10 月 31 日（木） 必着

8) 申し込み・問い合わせ先

大阪府冷凍設備保安協会

〒541-0051 大阪府中央区備後町 3-3-15 ニュー備後町ビル 4 階

TEL 06-6265-0711 FAX 06-6265-0538 mail : reitou@io.ocn.ne.jp

<銀行振込先>

三菱 UFJ 銀行 心斎橋支店 (031)

普通預金 口座番号 : 0117744 口座名義 : 大阪府冷凍設備保安協会

会場案内図

(一財) 大阪科学技術センター

※駐車場は利用できません。

■大阪方面・なんば方面より

地下鉄四ツ橋線 本町駅下車 28 号出口より北へ徒歩 5 分

地下鉄御堂筋線 本町駅下車 2 号出口より西へ徒歩 8 分



(NO. 1 別紙3-17)

この用紙は必要に応じてコピーして使用して下さい。

高圧ガス保安協会
冷凍空調工事保安管理者講習 申込書
(付加講習・保安確認講習)

フリガナ	
氏 名	
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
現 住 所	〒 ー ー 電話 ー ー
事 業 所 名	
事業所所在地	〒 ー ー 電話 ー ー
所有資格名称	
◎ 認定の区分	A・B・C・S・Sp

〔 受講資格者 〕

一級・二級冷凍空気調和機器技能士資格取得者

上記の通り申し込みます。

年 月 日

連絡担当者 氏名

電話 ー ー

〔記入上の注意事項〕

1. 事業所名は勤務先を記入して下さい。
2. 受講資格を証する書面（資格証のコピー等）を添付して下さい。
3. ◎印の欄は、該当するものを○で囲んで下さい。
4. ※印の欄には記入しないで下さい。
5. 写真は申込み日前6カ月以内に脱帽、正面、上半身を撮影した本人と確認できるものを貼付して下さい。

写 真
(縦2.5cm×横2.5cm)

写真の裏面に氏名を
記載すること。

※ 受講番号

この申込みで収集しました個人情報、この講習の受付・採点・合否通知のために使用するほか、高圧ガスに関する資格、法定義務講習及び保安教育に関連した情報は別にも使用します。なお、これらの情報に関する詳細は、本講習の案内書をご参照下さい。

高圧ガス保安協会
冷凍空調工事保安管理者講習 受講票
(付加講習・保安確認講習)

※ 受講番号	
フリガナ	
氏 名	
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
所有資格名称	
※認定の区分	A・B・C・S・Sp

写 真
(縦2.5cm×横2.5cm)

写真の裏面に氏名を
記載すること。

付加講習 出席確認欄	年 月 日

保安確認講習 出席確認欄	年 月 日

〔注意事項〕

1. 出席確認欄に確認印を受けて下さい。
2. この受講票を他人に使用させることはできません。

※

〔修了証明欄〕

上記の者は、冷凍空調工事保安管理者に係る講習の課程を修了したことを証明します。

年 月 日

証明者

印

高圧ガス保安協会

※ 事務所等の名称

大阪府冷凍教育検査事務所

(NO. 1 別紙3-18)

(この用紙は必要に応じてコピーして使用して下さい。)

高圧ガス保安協会
冷凍空調工事保安管理者講習 申込書
(保安確認講習)

フリガナ	
氏 名	
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
現 住 所	〒 ー 電話 ー ー
事 業 所 名	
事業所所在地	〒 ー 電話 ー ー
所有資格名称	
◎ 認定の区分	A ・ B ・ C ・ S ・ Sp

〔受講資格者〕

技術士〔機械部門（冷暖房・冷凍機械）〕の資格取得者
第一種、第二種又は第三種冷凍機械試験合格者
第一種又は第二種冷凍空調技士試験に合格し、登録を受けている者
一般・二級冷凍空調機器技能士資格取得者であって、付加講習を受講した者

上記の通り申し込みます。

年 月 日
連絡担当者 氏名
電話 ー ー

〔記入上の注意事項〕

1. 事業所名は勤務先を記入して下さい。
2. 受講資格を証する書面（資格証のコピー等）を添付して下さい。
3. ◎印の欄は、該当するものを○で囲んで下さい。
4. ※印の欄には記入しないで下さい。
5. 写真は申込み日前6カ月以内に脱帽、正面、上半身を撮影した本人と確認できるものを貼付して下さい。

※ 受講番号	
--------	--

この申込みで収集しました個人情報、この講習の受付・採点・合否通知のために使用するほか、高圧ガスに関する資格、法定義務講習及び保安教育に関連した情報提供にも使用します。なお、これらの情報に関する詳細は、本講習の案内書をご参照下さい。

高圧ガス保安協会
冷凍空調工事保安管理者講習 受講票
(保安確認講習)

※ 受講番号	
フリガナ	
氏 名	
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
所有資格名称	
※認定の区分	A ・ B ・ C ・ S ・ Sp

写 真
(縦2.5cm×横2.5cm)

写真の裏面に氏名を
記載すること。

保安確認講習 出席確認欄	年 月 日

〔注意事項〕

1. 出席確認欄に確認印を受けて下さい。
2. この受講票を他人に使用させることはできません。

※

〔修了証明欄〕

上記の者は、冷凍空調工事保安管理者に係る講習の課程を修了したことを証明します。

年 月 日

証明者

印

高圧ガス保安協会

※ 事務所等の名称	大阪府冷凍教育検査事務所
-----------	--------------

別表 1

認定の区分とその範囲並びに工事実績及び管理者の資格条件

認定の区分		S	S p	A	B	C
		アンモニア冷媒に係るもの		フルオロカーボン冷媒に係るもの		
認定の工事範囲		冷凍能力3トン以上のアンモニア冷凍空調施設の工事	冷凍能力3トン未満のアンモニア冷凍空調施設の工事	冷凍能力3トン以上のフルオロカーボン冷凍空調施設の工事	冷凍能力3トン未満のフルオロカーボン冷凍空調施設の工事	冷凍能力3トン未満のフルオロカーボン冷凍空調施設の工事
工事の実績 (認定要件)		冷凍能力3トン以上のアンモニア冷凍空調施設に係る工事の実績		冷凍能力3トン以上のフルオロカーボン冷凍空調施設に係る工事の実績		
管理者の資格条件 (認定要件)	携わった工事の実績	冷凍能力3トン以上のアンモニア冷凍空調施設に係る工事の実績		冷凍能力3トン以上のフルオロカーボン冷凍空調施設に係る工事の実績		
	所有資格 (1.～5.の内いずれか一つあればよい。)	1. 技術士(機械部門(熱工学))資格取得 2. 第一種冷凍機械責任者試験合格 3. 第一種冷凍空調技士試験合格し、登録 4. 一級冷凍空調機器施工技能士資格取得者で、別添付講習を受講 5. アンモニアを冷媒とする空調施設の工事に関する5年間の経験を有する者であること	1. 左 同 2. 第一種、二種、三種冷凍機械責任者試験合格 3. 第一種、二種冷凍空調技士試験合格し、登録 4. 一級、二級冷凍空調機器施工技能士資格取得者で、別添付講習を受講 5. アンモニアを冷媒とする空調施設の工事に関する2年間の経験を有する者であること	1. 左 同 2. 第一種冷凍機械責任者試験合格 3. 第一種冷凍空調技士試験合格し、登録 4. 一級冷凍空調機器施工技能士資格取得者で、別添付講習を受講 5. フルオロカーボン冷媒とする空調施設の工事に関する5年間の経験を有する者であること	1. 左 同 2. 第一種、二種冷凍機械責任者試験合格 3. 第一種、二種冷凍空調技士試験合格し、登録 4. 一級、二級冷凍空調機器施工技能士資格取得者で、別添付講習を受講 5. フルオロカーボン冷媒とする空調施設の工事に関する3年間の経験を有する者であること	1. 左 同 2. 左 同 3. 左 同 4. 左 同 5. フルオロカーボン冷媒とする空調施設の工事に関する2年間の経験を有する者であること
	受講講習	S又はS p区分に係る保安確認講習(受講時間4時間)		保安確認講習(受講時間3時間)		

備考 ※ 空調のための冷凍施設のうち、ロット生産されるユニット型機器を用いる施設で次の範囲内のもの

1. シングルパッケージユニット
2. セパレートユニットで室外ユニットと室内ユニットの組合せが限定され、あたかも単一ユニットのように構成されるもので、冷凍能力10トン未満のもの

冷凍空調工事保安管理者になろうとする者が必要な講習・検定

講習・検定は下表の区分に従い、毎年度各ブロックごとに実施します。

冷凍空調工事工事保安管理者が必要とする資格	付加講習	無 資 格 者		保安確認講習
		講 習	検 定	
1. 技術士（機械部門（冷暖房・冷凍機械））の資格取得者				○
2. 第一種・第二種・第三種冷凍機械責任者試験合格者				○
3. 第一種・第二種冷凍空調技士試験に合格し、登録を受けている者				○
4. 一級・二級冷凍空気調和機器技能士資格取得者 注1.	○			○
5. 上記1から4の資格を有しない者で、認定の区分に応じ冷凍空調施設の工事、修理に関する経験を2年間から5年間以上有する者 注2.		○	◎	○

注1. 4. の該当者は付加講習を受講後、保安確認講習を受けること。

2. (1) 5. の該当者は、無資格者のための講習を受け、検定に合格後、保安確認講習を受けること。

(2) 検定に不合格の者又は受検出来なかった者は、次回以降の検定に際し、無資格者のための講習は受けなくてもよい。